宮崎公立大学　令和元年度後期

開放授業　募集要項

授業期間：令和元年９月23日（月）から 令和２年１月20日（月）までを予定

（１科目につき、週１回・全15回の講義）

受講資格：18歳以上の方

募集定員：各科目若干名（応募者が定員を上回った場合は抽選）

受 講 料：１科目5,000円（別途、テキスト代の費用負担が生じる場合あり）

対象科目：別途定める科目　※講義の日時・内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。

申込方法：この募集要項にある「宮崎公立大学 令和元年度後期 開放授業申込書」を持参、

郵送またはFAXで申込　**※本様式以外の申込書を使用しての申込は、受付できません。**

募集期間：令和元年７月１日（月）から７月26日（金）まで

申 込 先：宮崎公立大学 地域研究センター 開放授業窓口　（受付時間 平日９時～17時）

TEL：0985-20-4772　FAX：0985-20-4773

申 込 締 切　７月26日（金）　※ 必 着

やわらかな知性を身につける。

宮崎公立大学

MMU LIBERAL ARTS

目次

1　開放授業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　受講までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

3　受講に際して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

4　お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

5　申込上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

6　科目一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

7　科目一覧早見表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

１　開放授業の概要

開放授業とは、宮崎公立大学の講義の一部を地域住民の皆さまに公開し、学生と一緒に授業を受けることができる取り組みで、平成20年度から実施しています。
開放授業は大学の正規の授業を公開していますので、授業内容は受講者の方に特別に配慮したものではありません。授業中の質問等も学生を優先させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

２　受講までの流れ

① 受講希望科目の決定
・募集要項内の「６　科目一覧」（5～9ページ）をご参照の上、受講したい授業を決めてください。
・申込科目数に制限はありませんが、「６　科目一覧」に記載の募集人員を超えた場合、受講できない場合があります。

② 必要書類の提出
・「開放授業申込書」を**令和元年7月1日（月）から7月26日（金）まで**に下記の開放授業窓口に直接提出していただくか、郵送（**7月26日（金）必着**）またはＦＡＸ（FAX番号：0985-20-4773）で申し込みください。（直接提出の場合は、平日の9時～17時）

〒880-8520　宮崎市船塚1丁目58番地　凌雲会館2階
宮崎公立大学地域研究センター　開放授業窓口　宛

③ 選定結果の通知
・募集人員に応じて抽選を行い、令和元年8月中旬頃に、申込者全員に選定結果を郵送によりお知らせする予定です。

④ オリエンテーションの実施
・受講決定者を対象としたオリエンテーションを、令和元年9月中旬頃に本学にて実施する予定です。内容は、特にご質問の多い時間割や休講・補講に関することを中心とした、受講に関する案内を予定しています。詳しくは別途ご案内します。

⑤ 受講料の納付
・受講料（5,000円）は、オリエンテーション実施日から該当する授業開始日までに、地域研究センター開放授業窓口にて現金で納付していただきます。なお、一旦納付された受講料は、理由のいかんを問わず、一切返還できませんのでご了承ください。

⑥ 受講者証の発行

・受講決定後、受講料を納入された方には、受講者証を発行しますので、学内では必ず携帯されるようお願いします。

３　受講に際して

① 受講者の義務

・受講者は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障を来さないよう努めていただくとともに、学内では担当教員または職員の指示に従ってください。

② 受講の取り消し

・受講者が本学の諸規程に違反した場合、学内の秩序を乱した場合、受講者としてふさわしくない言動をした場合、または授業の進行に支障があると担当教員が判断した場合は、受講許可を取り消すことがあります。なお、受講取り消しの場合であっても、納付済みの受講料は返還いたしません。

③ 単位認定について

・開放授業の受講者には、単位認定はできません。

④ 定期試験について

・定期試験の受験はできませんのでご了承ください。

⑤ テキスト代について

・受講者が授業で使用するテキスト代は、受講料に含みません。別途、受講者の個人負担となります。テキストは受講決定後、学内で販売しますので、追ってご案内します。

⑥ 休講・補講について

・担当教員の出張等によって授業ができない場合は、休講になります。その際は、連絡事項を学内の掲示板（インフォメーションホール内）に掲示します。原則として、緊急な場合を除いて受講者の皆様への電話等による休講等の連絡は行いません。

・休講が生じた場合には、その都度補講を実施していきます。補講は、主として月・火・金の6時限（18:00～19:30）や12月の土曜日に随時開講します。よって補講は、通常の時間割とは異なる曜日・時限で受講していただくことになりますのであらかじめご了承ください。

⑦ 連絡先の変更

・お申込み後、連絡先が変更になった場合は、開放授業窓口まで速やかにご連絡をお願いします。

⑧ 通学方法

・車で通学される方は、大学の東側駐車場をご利用ください。東側駐車場に空きがない場合は、体育館北側駐車場をご利用ください。ただし、駐車場内及び敷地内でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

⑨ 施設の利用

・受講者は、本学図書館、売店・食堂等の施設を利用することができます。

⑩ 学内でのWi-Fi利用

・受講者は、申請を行うことで本学の学内Wi-Fiを利用することができます。

４　お問い合わせ先

開放授業に関するお問い合わせは、下記窓口までお願いします。

〒880-8520　宮崎市船塚1丁目58番地 凌雲会館2階
宮崎公立大学地域研究センター　開放授業窓口
TEL：0985-20-4772　／　FAX：0985-20-4773
執務時間：月～金曜（祝日を除く）　9:00～17:00

５　申込上の注意

①　授業時間は下記のとおりです。

＜午前＞	１時限	８：５０～１０：２０	＜午後＞	３時限	１３：００～１４：３０
	２時限	１０：３０～１２：００		４時限	１４：４０～１６：１０
				５時限	１６：２０～１７：５０
				６時限	１８：００～１９：３０（補講）

②　講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

③　受講者の選定については、科目ごとの応募者が定員を上回った場合には、「抽選」により受講者を選定します。

④　今回開講する14科目のうち、「自然災害と防災・減災」を除く13科目が基幹科目として開講されます。これらの科目はカリキュラム上、専門基礎科目と呼ばれる専門的な知識の基礎を学んだことを前提に開講される科目であり、若干、専門性の高い内容となります。その点を踏まえて、受講をご検討ください。

⑤ 申込後、受講が決定した方には、「開放授業受講に関する同意書」をご提出いただきます。同意書の内容は、開放授業は正規授業を公開しているという趣旨に基づき、本募集要項「３　受講に際して」の「①受講者の義務」および「②受講の取り消し」の内容に同意いただくものとなっております。詳しくは、オリエンテーションの際ご説明します。

６　科目一覧

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

1　日本文学　【楠田 剛士　准教授】水曜３時限　定員：５名

【講義内容】

講義では日本近代文学の代表的な作家（夏目漱石、谷崎潤一郎など）の短篇小説を取りあげます。これらの小説を同時代言説や文学理論との関連を視野に入れながら精読し、小説が内包する今日的問題を発見していきます。（昨年度と同じ講義内容です）

【受講生へのメッセージ】

受講生に記入してもらうコメントカードの意見も取り入れながら議論を深めていきます。

2　英語学概論　【福田　稔　教授】 月曜５時限　定員：５名

【講義内容】

この授業では英語学の基礎を学ぶことが大きな目標です。具体的には、英語学研究の歴史、英語の歴史、英単語の分析、意味の分析、文構造の分析、生成文法という新しい研究、などを扱います。また、この授業には以下の到達目標があります。
（１）英語学にはどのような研究分野があるのか理解する。
（２）それぞれの研究分野で、どのように英語を分析するのか理解する。
（３）自分でも基礎的な英語の分析ができるようになる。
したがって、英語が理解できていない方が得意となることを目的としていません。英語の語学力を身に付けるというより、英語や言語そのものに対する洞察力を深める、というのがこの授業の大きな目標です。
講義の授業ではありますが、自ら考えて答えを発見する訓練をするために、授業中に問題を解いて頂きます。

【受講生へのメッセージ】

授業で扱う英語の具体例は中学～高校１年レベルです。英語を理論的にどのように分析するかという解説が中心なので、英語の実践力を養成する内容ではありません。学術的な側面が極めて強い授業ということにご注意ください。この授業は概論なので、必然的に学ぶ内容は毎年ほぼ同じです。開放授業の受講生も中間テストと期末テストを受験して、理解度をチェックして頂きたいと思います。

3　文化人類学　【李　善愛　教授】金曜4時限　定員:5名

【講義内容】

文化人類学とは、人間の行為そして人間を取り巻く自然・社会・文化環境全体を研究対象とし、多様な社会や文化のあり方を現地で長期滞在によるフィールドワークという文化人類学独自の研究手法をとおして総体的に理解することを特徴とします。つまり人間の行動様式、価値観や世界観などに注目しながら、人間とは何かを問う学問として、文化相対主義の視点から自分と異なる「他者」「異文化」の常識を理解し、自己あるいは「我々」の常識を見直すことで人間に対する理解を深めていきます。

【受講生へのメッセージ】

本講義では、文化人類学において重要でかつもっとも基礎となるテーマを中心に社会・文化のどのように表象され、変容、再構築していくのかを検討します。そして自己と他者、自文化と異文化との相互理解をとおして人類学的知見や視座を身につけます。

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

4 現代イギリス小説 【村上 幸大郎 助教】 木曜3時限 定員:5名

【講義内容】

今年度は20世紀前半に活躍した小説家のE. M. フォースター（E. M. Forster, 1879-1970）の『眺めのいい部屋』（A Room with a View, 1908）を原書で読み進めていきます。この作品は階級間の文化や意識の違いなどをテーマにしていて、19世紀のヴィクトリア朝の価値観からの変化を反映していると言えます。時代も風土も異なる小説なので日本人にとっては理解しにくいところもありますが、当時の社会状況なども踏まえながら、丁寧に読み進めていきたいと思っています。

【受講生へのメッセージ】

授業で扱う作品は英語学習者用の平易なものではありませんので、ある程度の英語力が求められます。200ページを超える小説ですので予習も大変かと思われますが、文学作品を細かく読み進める楽しさを、皆さんと一緒に感じたいと思っています。

5 倫理学 【川瀬 和也 助教】 水曜3時限 定員:5名

【講義内容】

倫理学は、「道徳的に善い生き方とは何か」を学問的・論理的に探究する、哲学の一分野です。この科目では、現代の倫理学において有力と見なされているいくつかの立場を紹介し、倫理学を体系的に理解することを目指します。また、「倫理学はなぜ必要か」という問題について、倫理的な主張は主観的か、文化に相対的かといった観点から考えます。（昨年度と同じ講義内容です）

【受講生へのメッセージ】

倫理学は、「人間はどう生きるべきか」という実践的なテーマに、論理的な思考法を駆使して体系的にアプローチしようとする学問です。受講されると、自分自身の考え方を見つめなおすきっかけにもなると思います。

6 多文化主義（旧 異文化間コミュニケーションB） 【ネイサン ダッカー 准教授】 月曜3時限 定員:3名

【講義内容】

This class examines the question of multiculturalism. In simple terms this means what can we and governments do to help people from different cultures live alongside each other peacefully and happily. We discuss various issues such as educational policies, immigration policies, housing policies and so on as well as questions of business rules and ethical living.

【受講生へのメッセージ】

Each class will require some preparatory homework and involve watching and discussing video and other materials in class. Please be ready to join in with your classmates.

<u>※お申込みの際のご注意※</u>

1）講義はすべて英語で行われます。
2）講義中に英語でのディスカッションを行いますので、必ず学生と一緒に積極的に参加していただくことになります。
3）この科目の受講を希望する方は、①この科目に興味がある理由②自分の英語のレベルについて、英語200単語程度で作成し、開放授業申込書の受講希望理由の欄の注記に伴い、提出してください。
4）この科目の講義で使用する教材の例として、インターネット上で下記のURLから動画を試聴し、ご自身で大まかな内容が理解できるかどうかを確認してください。

■URL: https://www.youtube.com/watch?v=fbqHz__AWYM

5）講義中ディスカッションに参加できていない等、授業の進行に支障があると担当教員が判断した場合は、途中で受講をお断りさせていただく場合もございます。（なお、この場合も納付済みの受講料5000円は返還いたしません。）

◎上記の注意1～5についてご了承を頂いた上でお申込みいただきますよう、お願いいたします。

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

7 情報社会学

【梅津　顕一郎　准教授】 木曜2時限　定員:3名

【講義内容】

テーマは「情報社会の進展と現代人のアイデンティティ」です。個人が自立して「私らしく生きること」は、近代社会の誕生以降、私たちの心に至極当然のこととして受け入れられてきました。しかし社会状況が複雑化する中、現代人は「私らしさ」を実現しにくい現状と、「私らしくあること」への義務感との間でさいなまれているといわれています。

講義では、1.「 職業選択に見る若者のアイデンティティ意識の現在」2.「オリンピック報道の変遷に見る国家アイデンティティの変化」3.「情報化と消費文化から浮かび上がる私らしさの今」という3つのセクションをリレーする形で、情報化の進展における私たちのアイデンティティ意識の在り方と、それが示す意味を考えます。

【受講生へのメッセージ】

情報化がもたらした社会意識の変化を考えうるうえで、アイデンティティの問題は非常に重要なテーマです。今回は、昨年までの若者の社会的アイデンティティ問題に加え、ナショナルアイデンティティにも言及し、具体的な事例に基づきながら考えていきます。

8 広告文化論

【森津　千尋　准教授】 月曜4時限　定員:3名

【講義内容】

広告は、単に商業的な宣伝活動や媒体というだけではなく、現代消費社会を映し出す鏡だともいえます。本講義前半では、日本において「広告」がどのような過程を経て成立したのかについて考えます。さらに後半では、記号論的なアプローチから広告の意味構造を理解することにより、ジェンダーの問題やステレオタイプなど、現代社会の構造や文化について考えていきます。

【受講生へのメッセージ】

この講義は、ふだん何気なく見ている広告から「現代社会」の在り方を読み取っていくことを目的としています。講義は、受講している学生の関心点や理解の程度を見ながら進めていきますので、内容やスケジュールが変わる場合もあります。

9 国際社会学

【倉　真一　准教授】 火曜1時限　定員:5名

【講義内容】

本講義では国際社会学の基本的な考え方や理論について紹介するとともに、地球規模の社会変動と人々の持つリアリティやアイデンティティ、生活世界の変容といった事態に切り込んでみたいと思います。国際社会学のなかでも中心的テーマとなっている「グローバル化」「エスニシティ」「国際移民」「ネーションとナショナリズム」を取り上げます。まとめに代えて「多文化主義」についても取り上げたいと思います。

講義内容は昨年度のものに準じますが、事例として最近の時事問題などを取り上げる場合があります。

【受講生へのメッセージ】

自分たちのアイデンティティや日々の生活の背景に、地球規模の社会変容が影響していることを「自覚」かつ「反省」（振り返り）しつつ、新たな社会（連帯）を「想像」し「構想」できる力がこれから大切になると思います。

10 国際政治学 【田中 宏明 教授】木曜2時限 定員:5名

【講義内容】

国際政治学は、変化の激しい国際政治を理解するために多くの分析方法を提供してきました。その一方で、国際政治学は、国際政治をどのように見るべきであるか、そして対外政策をいかに展開すべきかに関して、統一的な見解が共有されておらず、きわめて論争的です。むしろ論争的だからこそさまざまな見方や考え方が提示されてきたといえます。
本講義で、国際政治の現状を踏まえ、「国際政治の世界」（歴史）、「国際政治の見方」（理論）、「対外政策」（政策）についての知見を深めることで、教養あるグローバル人材に不可欠な国際的な視野を広げ、そして論理的思考能力とともに、問題解決能力の養成に努めます。

【受講生へのメッセージ】

国際政治学は「戦争と平和の学問」です。国際政治の歴史を踏まえ、国際政治学の理論に迫りながら、平和を実現する方法を考えます。
なお、本年度の講義は、昨年度の講義内容を一部変更していますが、ほぼ同じです。

11 政治学 【山口 裕司 教授】木曜3時限 定員:5名

【講義内容】

政治学の比較の基準に「ジェンダー（社会的文化的性差）」を据えます。 本講義のねらいは、日本のジェンダー政治を他の先進諸国と比較しながら、日本の現状と課題を解明することにあります。特に、国会における女性議員の少なさが日本の大きな課題の一つです。 このような授業を受講することで、ジェンダー政治学的な基礎教養を身に付けてもらいたいと思います。昨年度と同じ内容です。

【受講生へのメッセージ】

男女共同参画社会、フェミニズム、ジェンダー、に関心のある方、こうしたテーマと政治の関連を学びたい方は、とくに受講をおすすめします。テキストはありません。毎回、事前にプリントを配布します。

12 国際経営論 【市村 陽亮 助教】月曜1時限 定員:5名

【講義内容】

国際経営の基礎的な知見を学び、グローバルな環境のなかで企業が行っている活動とはどのようなものなのかを、理解できるようになることが目標となります。グローバル経済はいたって当たり前の状態となりましたが、まだまだ問題が山積しています。また、すでに一部の企業だけがグローバルなのではなく、規模の大小に関わりなく、グローバル経済を考えざるをえません。国際経営とはなんなのか、どのように考えればよいのかを事例も用いながら、理解を進めていきたいと思います。
本講義では、理論の話も当然しますが、実際の場面を想定して講義を行っていきたいと考えています。
ただし、講義の状況や学生の理解を鑑みて、上記の内容を変更する可能性はありますので、ご理解ください。

【受講生へのメッセージ】

本講義は特定の教科書を使用しません。毎回の講義で資料を配布しますので、基本的に授業の開始から出席していることを前提にしています。また、経営とはなにか、という基礎的な知見は前期の科目である「経営学」にて行っているため、経営学を受講している前提で話します。そのため、本講義のみを受講する場合は、経営学の入門書で良いので一読しておくことをお勧めいたします。

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

13 行政論 【清水 習 助教】 木曜1限 定員:5名

【講義内容】

この授業では、国家権力である司法・行政・立法の一つ、行政を中心に、その機能と役割を学びます。このように書くと、堅苦しいうえに、難しく響くかもしれませんが、我々の普段の生活から、法や経済、道路や水道、本学の運営までもが、行政の活動によって成り立っています。何故、行政が存在し、何をしているのか、そして、現代日本の行政の何が問題かを一緒に考えていきましょう。

【受講生へのメッセージ】

日々日常の中で、行政がどのようにかかわっているのかを考える入門的な講義です。

14 自然災害と防災・減災 【辻 利則 教授ほか】 月曜5時限 定員:5名

【講義内容】

本講義は、「命は自分で守る(自助）」、「地域で活動する(共助・協働）」、「災害発生のしくみを学ぶ(科学）」、「災害に関わる情報を知る(情報）」、「減災や危機管理の手法(予防・復興）」の5分野に大きく分けられる。災害の発生のしくみを理解し、防災・減災について行政・地域の課題、災害心理や情報伝達の困難さなどについて学び、災害時のみでなく、普段からの対策が必要であることを理解する講義です。この講義を受講し、一定の基準をパスすれば、防災士試験の受験資格を得ることができます。

【受講生へのメッセージ】

自然災害はいつ起こるか分かりませんが、災害発生の仕組みや起きたときの心構えを学ぶことで被害から免れたり（防災）、被害を少なく(減災）できます。学生たちと一緒に学んでみませんか。

■受講に際してのご案内

１）テキストについて
受講料（5,000円）以外に、授業で使用するテキスト代3,500円が必要になります。

２）「防災士」資格取得について
「防災士」資格を取得するには、以下の三つの条件を満たす必要があります。
①８割以上の出席があり、欠席した講義は録画視聴により受講し、全ての講義を受講していること。
②課題レポートを期限内に全て提出していること。
③「防災士資格取得試験」（受験料3,000円が必要）に合格し、「防災士認証登録申請」（申請料5,000円が必要）を行い、地域消防署や日本赤十字社が行う「救急救命講習」の修了証（※5年以内に発行されたもの）があること。
（令和2年1月、宮崎公立大学にて、日本防災士機構により防災士資格取得試験が実施される予定）

７　科目一覧早見表

①科目一覧

※講義の日時・内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

No.	科目名	担 当	時間割（曜・時限）
1	日本文学	楠田	水・３
2	英語学概論	福田（稔）	月・５
3	文化人類学	李	金・４
4	現代イギリス小説	村上	木・３
5	倫理学	川瀬（和）	水・３
6	多文化主義	ダッカー	月・３
7	情報社会学	梅津	木・２

No.	科目名	担 当	時間割（曜・時限）
8	広告文化論	森津	月・４
9	国際社会学	倉	火・１
10	国際政治学	田中（宏）	木・２
11	政治学	山口	木・３
12	国際経営論	市村	月・１
13	行政論	清水	木・１
14	自然災害と防災・減災	辻	月・５

②授業時間

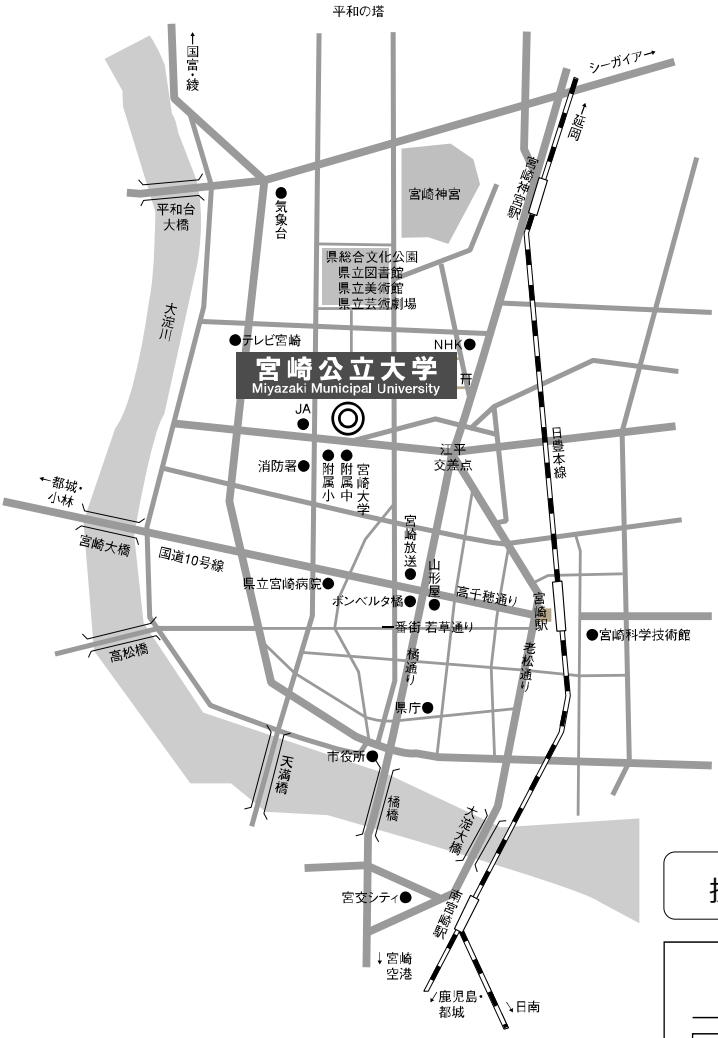
［午前］
１時限　８：５０～１０：２０
２時限　１０：３０～１２：００

［午後］
３時限　１３：００～１４：３０
４時限　１４：４０～１６：１０
５時限　１６：２０～１７：５０
６時限　１８：００～１９：３０　（補講）

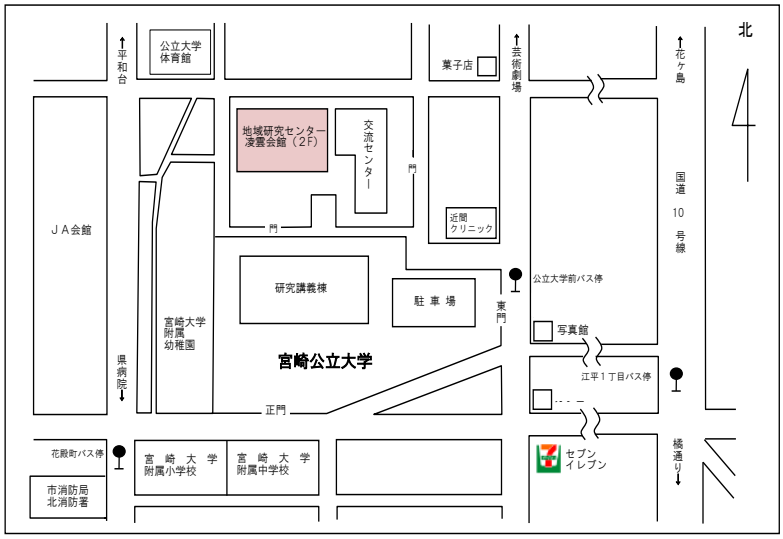
③曜日別一覧

	月	火	水	木	金
1	国際経営論	国際社会学		行政論	
2				情報社会学	
				国際政治学	
3	多文化主義		日本文学	政治学	
			倫理学	現代イギリス小説	
4	広告文化論				文化人類学
5	自然災害と防災・減災				
	英語学概論				

宮崎公立大学位置図



拡大図



[交通案内]

■徒　歩　　**JR宮崎駅から約25分**

■乗用車　　**JR宮崎駅から約5分**

■バ　ス　　**宮崎交通バスにて宮交シティ(バスセンター)から約30分**

(大学最寄りのバス停は「花殿町」または「公立大学前」または「江平一丁目」)

宮崎公立大学　地域研究センター

〒880-8520　宮崎市船塚１丁目 58 番地 凌雲会館２階

TEL：0985-20-4772　FAX：0985-20-4773